

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村 清一
	全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4302 創造の家管理事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費										
	事業	010000 創造の家管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
勤労青少年や市民の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。						須坂市スポーツ協会を指定管理者として、事業実施、施設管理を委託する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用された。 R2.4.1以降の新たな指定管理者の選定を行った。 老朽化した施設の長寿命化基本調査を実施した。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。

指標名	勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数						
算式	施設延べ利用者数+自主事業参加者					単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	9,857	9,857	9,857	9,857	9,857	
	実績	9,811	9,855	10,586	10,329		
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者、自主事業参加者の総数を指標とした。						
最終年度目標の根拠	指定管理開始年度の利用者数実績による						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		12,438	13,427
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,438	13,427
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	726.5	726.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	726.5	726.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,164.5	14,153.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	228	修繕料228
13節 委託費	12,047	長寿命化基本調査委託料450 指定管理委託料11,597
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	163	備品購入163

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	330	修繕料
12節 委託費	11,630	指定管理者委託料
14節 工事請負費	1,300	工事請負費
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	167	備品購入

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	根拠法令の改正を受けH27に条例改正、勤労青少年の福祉向上のために市が独自で設置している状況 H27に指定管理施設に移行し、従前と同様の講座等を開催し一定の利用者はある。 勤労青少年の福祉向上のための事業として継続する必要は低いと思われる。 事業の内容は社会教育、生涯学習事業と似通っている部分もあるため、指定管理の内容を施設管理と自主事業のみにするなど検討が必要か。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	従前よりの教室事業 H30実績 21教室（延べ151回）受講者238名 R1実績 20教室（延べ140回）受講者210名	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	老朽化した施設の長寿命化調査は実施したが、具体的な改修計画は決まっていない。 今後も施設を活用していくためには、それなりの維持管理コストがかかる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

指定管理者である一般社団法人須坂市体育協会による自主事業の実施などにより、施設の利用率の向上、利用者数の確保が図られている。
 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで引き続き同協会を指定管理者と選定した。
 長寿命化基本調査結果を今後どのように施設改修に反映するかが課題。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>福利厚生や出会いの場を提供するとともに、施設が老朽化しているため、施設の長寿命化を検討していく。</p>		<p>受託者は、施設利用の向上について工夫している。勤労者福祉と若者の出会いの場としての機能を充実させていく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	